

第 41 回染色体ワークショップ・第 22 回核ダイナミクス研究会 公募研究班 新海創也（理研 BDR）

2024 年 1 月 29～31 日に小田原にて染色体ワークショップ・核ダイナミクス研究会が開催されました。本学術変革領域の方々には馴染み深い研究会であることはもちろん、計画・公募班からの多数の参加がありました。ハイブリッドスタイルの開催でしたが、対面が主としては 2019 年度の新潟以来の 4 年ぶりであり、現地 126 名＋オンライン 18 名による 3 日間の熱い討論の場でした。

本研究会は日本の染色体研究を下支えするボランティアベースで運営されてきた歴史ある研究会です（※Wikipedia にまとめられています。<https://ja.wikipedia.org/wiki/染色体ワークショップ>）。それゆえ、純粋に研究を討論するために、いわゆる「現役」を退いた諸先輩方々からの参加もあります。特に今回は、最高齢の講演者として柴田武彦先生が RecA の組換え反応制御機構に関する仕事を話されました。驚いたことに、いまだ「現役」でなされた仕事がこの 1 月に NAR 誌から出版され、発表もされたということです。また、最年少は学部 2 年生であったということも特筆です。したがって、20 代前半～70 代後半という幅広い年齢層が参加する稀有な研究会と言えます。

今回から新たな試みとしては、学生を奨励するための学生発表賞というものが世話役によって設けられました。口頭発表では 2 名（8 名中）、ポスター発表では 5 名（20 名中）が、参加者からの公平なアンケートに基づいて、受賞されました。本賞の役割が数年後に顕在していくことが楽しみです。

最後に、来年度の開催も決定しています。熊本大学の石黒先生と東京大学の川島先生が世話役となり、2025 年 1 月 29～31 日で大分・別府での開催となります。本学術変革領域と同様、分野横断的な研究領域として日本の染色体研究が発展していることを実感できる会になることを期待しています。

